

2006年

**1**

月号

# 組合会報

(発行所)  
埼玉県鍛金工業組合  
〒331-0811

さいたま市北区吉野町2-222-7

TEL 048(666)2184

FAX 048(652)7631

(発行人・理事長)

吉田 勇

(編集人・総務委員長)

柿沼信夫

## —今月号の主な内容—

「年頭所感」理事長 吉田 勇.....	2	人材確保推進事業講演会.....	5
「年頭所感」副理事長 野口 武.....	3	公害防止管理者講演会の開催.....	7
「年頭所感」副理事長 山本正宏.....	4	全鍛連の第43回全国大会.....	11

## 平成17年度 人材確保推進事業



(大阪市鶴見区 (株) 太洋工作所鶴見事業部)

## 年頭所感

## 平成18年の新年を迎えて

埼玉県鍍金工業組合 理事長 吉田 勇



新年お目出度うございます。  
昨年は組合創立40周年記念事業、  
関東甲信越静ブロック会議開催、  
県幹事等大きな事業を実施して  
まいりましたが、皆様の絶大な  
ご協力により滞りなく終了す  
ることが出来ました。感謝申し  
上げます。本年は大きな節目を  
経て、また新たな歴史の第一歩  
の年となります。又、日本も戦  
後60年という同じく大きな節目  
を越え新時代へと歩を進めるこ

とになりました。平和で健やか  
な年であることを念願します。  
このところ日本経済は順調に推  
移している様子で株価も1万6  
千円台を回復明るい兆しが伺え  
ますが、私達としてはあまり実  
感が湧かないというのが現実の  
ようであります。原材料の高騰、  
原油高、厳しいコストダウン要  
請といったものが経営に重くの  
しかかって来ており、こういつ  
た要因が好況感を阻害している  
ものと思われます。だが自動車  
産業を始め、一般の製造業がこ  
のところ好調の模様で我々製造  
業の一端を担う業界としても今  
後に期待が持てるものと思つて  
おります。我々業界にとりまし  
ては宿命づけられている環境問

題であります。本年も引き続  
き注視していかなければなりま  
せん。難問である土壤汚染対策  
法も良い対案も見い出せないま  
ま今日に至つて来ていますが、  
昨年度より全鍍連としても第一  
課題として土壤汚染を取り上げ  
ており良き方策を探求しており  
ますので、なんらかの成果が出  
ることを期待したいと思います。

アメリカの心理学者アブラハム・  
マスローは人間の可能性を阻害  
する要因として次の6つをあげ  
ています。  
○いたずらに安定を求める気  
持ち  
○つらいことを避けようとす  
る態度  
○成長への意欲の欠如  
○勇気の欠如  
○本能的欲求の抑制  
以上6つの阻害要因を克服する  
ことにより難しい環境問題もや  
がて解決できる事を確信し、又  
以上の要因を意識し組合運営に  
あたつて行く所存です。  
本年もよろしくご指導ご鞭撻  
の程お願い申し上げます。



- 現状維持の気持ち
- つらいことを避けようとす  
る態度
- 成長への意欲の欠如
- 勇気の欠如
- 本能的欲求の抑制



## 年頭所感

## 感じる || 時代を超えて ||

埼玉県鍍金工業組合 副理事長 野口 武

戦後六十年を感じるままに筆を運んでみました。日本は敗戦からの復興そして高度経済成長期を経てバブル経済期へそして今日のデフレ経済（脱却したのかな？）へと進んで来て、思うに最近の国が豊かさとは裏腹に、世界一の債権国に対し国・地方を合わせた借金が七百七拾兆円とそして地球温暖化と同様、毎日・時・分・秒単位で増えている、その原因が官僚政治であることが歴然としている。

例えば一般会計（八拾二兆円）の外に特別会計（二百五兆円）の運用を代表に国の特殊法人二百数拾余他に社団・財團法人二万六千余

人（元）の官僚は、何をすべきか」と置き換えたものです。

さて昨年月刊「松下村塾」（一八五七年中心）を読んで感じる（感銘する）ところを引用してみます。このことを今さら言うまでもありませんが歴史に今昔は無いと改めて（恥ずかしいのですが）思い馳せた感じがします。

## 塾への入門心得

- 1、親の命には背かないこと。
- 2、親には行き帰りの挨拶をする

こと。

三、朝起きたら顔を洗い、先祖を拝み、萩（藩）を拝み、京（国）

と乱立乱脈運営（殆ど天下り受入れ外郭）と枚挙に暇がない程である。主権在民の政治はどこへ行ったのかと思うのは私だけだろうか。曾てアメリカのケネディ大統領が「国民は國から何をしてもらえるかを考へるより、國に＊何がしてあげられるか考へよう」と言つております。この國に＊の後に「官僚は何をすべきか」と置き換えたものです。

以上の五ヶ条が基本となつていております。この國に＊の後に「官僚は何をすべきか」と置き換えたたとのこと、ご存じの通り吉田松陰（一八三四～一八五九）の三十年の生涯の基幹を成した塾で死後、その教えを受けた門下生は、明治政府初代内閣総理大臣伊藤博文（利助）始め、多くの塾生が当時の日本を動かした人脈は、大変なことだつた。前置きは、この辺にして次に松陰語録の一部を掲載します。

## 〔学〕

一、古典を学び、それを新しく活用する。

また新しいことをするためには、古典を活用することが大事である。

新しい古いを問わず、道理にかなつたものをうまく生きることであります。

皆さんどう受け止めたか。

未だ未だありますが紙面の都合で今日はこれにて失礼します。

を拝むこと。

四、年長や偉い人を敬うこと。年下のものは可愛がること。

五、塾では、何事に際しても礼儀正しいこと。

以上の五ヶ条が基本となつていていたこと、ご存じの通り吉田松陰（一八三四～一八五九）の三十年

一、「政」

一、政治をする人は、自分のことを考へる前に、

常に国民のこと考へることができる人でなければならぬ。それができるかを、先ず考へよう。もしできないければ、他の道を考へよう。反対に、できる、やろう、

と思う人は、是非頑張つて欲しい。国民は、今、そういう人が本当に必要だからだ。みんな期待して待つて

一、「心」

瞳ほど、人の善悪を表すものはない。

瞳は、間違つたことを隠すことにはできない。心が正しければ、その瞳に現れる。心の中がやましいならば、瞳も暗くなる。言葉を聞いて、その瞳を見れば、本當かどうか分かる。だから見せかけの行いはしてはいけない。

## 年頭所感

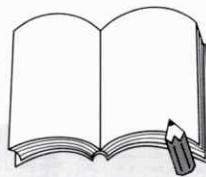
## 品質と環境について

埼玉県鍛金工業組合 副理事長 山本正宏

昨年二〇〇五年は愛知万博に代表されるように環境に関する意識が増大し、それに伴つて環境規制も次々と生み出された年となりました。近々の我々業界に関連するトピックスとしては河川・湖沼の浄化そして水質環境基準に亜鉛をはじめとして、ほう素、ふつ素、硝酸性窒素の排水基準が定められ第2次暫定排水基準が平成16年7月～19年6月まで認められました。また、平成15年2月に土壤汚染対策法が施行されたことも記憶に新しいと思います。ヨーロッパのR.O.H.S指令の影響による製造業におけるグリーン調達の一般化、一連のアスベストに関するニュースなど社会のニーズとして製造業は原材料の一つ一つの品質にいたるまで、細かく、厳しい目で管理を課せられる時代となりました。

しかしながら製造業の景況感は少なくとも近年の中では大変良い年であったと思われますが、私どもの業界では、そのことがまだ実感として捕らえることが出来ずになります。弊社の推移を考えましても全国的には産業の伸びと連動し飛躍している企業も多くあるようで、まだまだ革新が欠如していると痛感しているところです。しかし、日本経済がしつかりとした足取りで歩んでいる以上、我々も遅まきながら少しずつ良くなつて来ると信じております。

トヨタのハイブリット車がアメ



リカで好評を博しているように、ただ顧客の要求や社会のニーズに追従していくのではなく、我々製造業のサードから顧客と社会に対し先んじて「環境品質」に優れた工法や商品を提言していくのもまた一つの道かと思われます。組合活動を通じて内外の情報を取り入れ互いに切磋琢磨し合うことで更なる技術力の発展を目指し、地域だけではなく日本を支える一翼としてのめつき業であり続けたいと考えております。



高度熟練技能者  
認定者  
坪 亮 氏  
増

私は、昭和30年代後半よりプラスチック製品等の普及により、金型製造が盛んになりその金型が鋳造たり離型性が悪く大変苦慮していました頃から金型の内面の磨きと鍛金に取り組み、試行錯誤で研究して安定した高品質の製品が確保出来るようになり、ユーティカル今日まで高い評価を得る事が出来る様になりました。

今後、一層精進して参りますので宜しくお願ひ致します。



## 人材確保推進事業講演会

### 「利益を生み出す工場改善」



柿沼信夫総務委員長の司会で始められ、野口武副理事長が開会の挨拶をされた。

柿沼信夫総務委員長の司会で始まり次のように講演した。「工場改善の考え方は8つの実行課題（あ

埼玉県鍛金工業組合（理事長吉

田勇）は、人材確保推進事業の一環として平成17年9月28日午後4時より大宮ソニックスティ7階七

〇八号室において「利益を生み出す工場改善」と題して講演会を開催した。

OBの集団です。  
アブセックは企業が必要としている知識や技能を実地で身につけて上での持つて経験、能力を發揮し、少しでも経営改善や体质強化のお手伝いができるだと考

えています。又地域における諸活動の中で、私たちがボランティア的に参加、参画できることがないかと積極的に探し、活力ある地域社会のお手伝いをしたいと考えております。」次に講師の樋口豊氏よ

り次のように講演した。「工場改善の実行課題は8つあります。」

（1）トップ主導の現場パトロール  
（2）整理

（3）改善診断のチエックリスト  
（4）実行課題は工場改善を推進するためには、実施すべき根柢子に相当する部分である。

（5）清掃・点検  
（6）現実直視  
（7）目で見る管理  
（8）ムダ取り

（9）状態を作り出して、再発防止を徹底し、維持することである。

（3）整頓とはそれを必要とする人にとつて「探しやすく、取り出しやすく、収納しやすい」状態を作ることである。

（4）清掃・点検  
（5）現実直視  
（6）問題発生あるいは問題を感じたら「直ちに現場に駆けつけ現場をありのままに直視する」ことである。

（7）ムダ取り  
（8）凡事徹底  
（9）直ぐに、誰でも分かるようにすることである。

（3）整頓とは「不要なものを廃棄すことである。」工場の「正常な

めて一人前である。次にA工場の活動事例について従業員12名のめつき業で、取扱製品：ニッケル、クロム、亜鉛、銀など

生産設備：自動装置（引掛け）、バーレル装置

生産の特徴：小物部品、多品種少量生産、短納期

A工場の改善課題についての例をあげられ、改善は「紙一枚ずつの積み重ね」である。

改善は「儲ける会社」にするための地道で確実な手段の一つである。

「根気良く続けられる」、「後戻りしない仕組み」を根付かせられるかどうかがポイントである。

終了後、懇親会は雇用等の情報交換の場として行なわれました。



## 埼玉県鍍金業 人材高度化研究会

### 出席者

埼玉県鍍金工業組合

野口武副理事長、小林満専務理事、柿沼信夫総務委員長、仁科俊夫総務副委員長

雇用能力開発機構埼玉センター  
佐藤良一統括所長、中牟田誠業務第一課長、水野新訓練課調査役

事務局  
野口指導員、桜井、田野、各氏  
最初に佐藤統括所長より次のように挨拶した。

「埼玉県鍍金工業組合の皆様にはこのたびコース計画立案にご協力をいただき有難うございます。

すみやかな立ち上げに機構としても全面的に協力していきたい。尚

機構の見学も出来ます。又訓練卒業生の採用もご配慮いただければ

ありがたく思っています。次に小林満専務理事より、計画コースの説明がされた。計画では「環境保全」「リスク管理」「新技術関連」「情報・通信」の各コースである。「情報・通信」について、特にインターネットは今後の必要性を感じて

いるので、来年2月頃、日程と時間を協議の上設定したい。事務局

より本会議は、平成18年2月開催をもつて終了しますと話された。

あつそつだ！  
今年の最賃  
いくらかな？

平成17年度埼玉県最低賃金のお知らせ

時間額682円です。

埼玉県最低賃金は、埼玉地方最低賃金審議会における真摯な審議を経て、昨年度より3円引き上げられ682円となりました。

なお、日額は14年度から廃止されており、現在は時間額のみとなっています。

埼玉県最低賃金は、埼玉県内で働くすべての労働者（後述する産業別最低賃金が適用される人を除く。）に適用され、この金額未満で人を働かせることはできません。

また、最低賃金の対象となる賃金には、精勤手当、通勤手当、家族手当、時間外・深夜・休日手当、臨時又は1月を超える期間ごとに



支払われる賃金は算入されません。なお、著しく労働能力の低い人などについて、埼玉労働局長の許可を受けた場合には、最低賃金の適用が除外されます。

**産業別最低賃金**

現在、埼玉県では、埼玉県最低賃金に加え、非鉄金属製造業ほか5つの産業に関して「産業別最低賃金」と呼ばれている最低賃金が決められています。この6つの産業に属する事業場の場合には、産業別最低賃金が適用されますので注意を要します。産業別最低賃金が決められている産業は次のとおりです。

- 1 非鉄金属製造業
- 2 電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品、デバイス製造業
- 3 輸送用機械器具製造業
- 4 光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業
- 5 各種商品小売業
- 6 自動車小売業

ご自分の企業がどの最低賃金の適用を受けるかなど最低賃金に関して不明な点は、最寄りの労働基準監督署又は埼玉労働局賃金室（電話048-600-6205）までお問合せください。

## 人材確保推進事業 公害防止管理者講演会の開催

埼玉県鍛金工業組合（吉田勇理

（3時15分～4時15分）

事長）は平成17年10月13日（木）

講師：デップソール株式会社テク

「大宮サンパレス」において午後1時30分より、公害防止管理者講

田中茂実氏  
二カルセンター主席技術員

演会を開催した。参加者90名

田中茂実氏  
二カルセンター主席技術員

大塚一弘環境保全対策委員長の司会で始められ、開催の辞を野口武副理事長が挨拶。主催者を代表して吉田勇理事長欠席のため、山本正宏副理事長が挨拶した。来賓の県環境部水環境課副課長保科弘氏、次いで埼玉県中小企業団体中央会根本脩一氏がそれぞれ挨拶された。

第1講演  
研修内容

○特定有害物質取扱事業所の建物の全部を除去する場合

第1講演で藤村氏は、汚染された土壌からの特定有害物質の大気

地下汚染による人への健康被害を防止するため、特定有害物質取扱事業者等に土壤や地下水の調査・対策を義務づけています。

○建物のうち特定有害物質を取り扱い若しくは取り扱っていた部分を除去する場合

【調査】特定有害物質取扱い事業者は、土壤汚染の未然防止及び早期発見のために次のことに努める必要があります。（条例 条

① 現在取り扱っている特定有害物質が地下に浸透したり、公共用水域に流出しないよう適正に管理すること。

② 特定有害物質による土壤又は地下水汚染の状況を調査すること。

③ 調査結果は速やかに知事に報告すること。

【対策】汚染土壤により地下水等が汚染され、人の健康に被害が生じる恐れがある場合、特定有害物

場合、当該事業所の敷地の土壤汚染状況を調査し、知事に報告しなければなりません。

○特定有害物質取扱事業所を廃止した場合



平成18年1月20日

質取扱事業者は汚染土壤の処理等を行なう必要があります。

## (条例第78条第1項)

知事は、特定有害物質による土壤汚染により、大気又は地下水を汚染し、人の健康に被害が生じている場合や生じる恐れがあると認めると汚染土壤の処理等を命ずることができます。

この場合、特定有害物質取扱事業者は次の対策をとらなければなりません。

## ①汚染処理計画の作成及び提出

## ②汚染拡散防止の措置及び完了の報告

特定有害物質を含む水の地下水への浸透により、人の健康に被害が生じる恐れがある場合、特定有害物質取扱事業者は地下水の水質浄化措置を講じる必要があります。

## (条例第83条第1項)

土地改変者とは、 $3000\text{m}^2$ 以上の土地(農用地を除く)について、造成や工作物の建設等による土地の改変をしようとする者をいいます。土地改変者は、改変を計画している $3000\text{m}^2$ 以上の土地の履歴調査をし、知事に報告しなけ

ればなりません。

## (条例第80条第1項)

第2講演で、田中氏は、環境負荷物質の一つである6価クロムは、防錆や塗装下地のために亜鉛めつき、亜鉛系合金めつき、アルミやマグネなどのクロメート処理と呼ばれる後処理に広く使用されています。しかし、クロメート皮膜は可溶性の6価クロムを含有しており、リサイクルを行う場合に、6価クロムが溶出、環境汚染が懸念されます。6価クロム代替技術の確立が急務になっています。6価クロム代替技術の中で、現在一番有力な手段が3価クロムを使用した3価クロメートの技術です。しかししながら6価クロメート技術のすべてを100%代替えするまでには至っていないのが現状です。

特例83条第1項) ここでは当社で対応できる3価クロメート技術、製品について紹介します。

6価クロムフリーに関してはEVの動向が特に注目されています。

土地改変者とは、 $3000\text{m}^2$ 以上の土地(農用地を除く)について、造成や工作物の建設等による土地の改変をしようとする者をいいます。土地改変者は、改変を計画している $3000\text{m}^2$ 以上の土地の履歴調査をし、知事に報告しなけ

対象物質：鉛、水銀、カドミウム、6価クロム等。

2006年7月以降の電子電気機器に含有してはならない。

## (2) EV規制(使用済み自動車…

End of Life Vehicle)

対象物質：鉛、水銀、カドミウム、6価クロム等。

2003年7月以降使用禁止、但し、防錆目的での6価クロム使用は $2\text{g}/\text{台}$ まで使用可能との方針を打ち出しました。

その後、段階的削減案がなされました。最終的には2007年7月以降は6価クロムも使用禁止となる。国内メーカーや部品メーカーも対応していますが、EVの規制動向に左右されている面があります。又、3価クロメートの量産ライン導入状況、ディープソールの3価クロメート剤について紹介され出席者全員大変熱心に受講されます。

(1) ROHS指令(特定有害物質使用禁止指令)

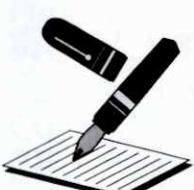
EVの環境規制

(1) ROHS指令(特定有害物質使

用禁止指令)

全連  
関東甲信越静  
ブロック会議

ところでも日本経済は景気指標の改善がみられ株価も上昇し、景気回復が期待できるよう思うが、これは大企業業績によるところが大であり、立場を変えて中小企業



午後2時より埼玉組合小林満専務理事の司会で始められ、埼玉組合野口武副理事長より開会のことばに続き、幹事県を代表して埼玉組合吉田勇理事長が次のように挨拶した。「本日の会議は埼玉・群馬両県が幹事県となり地元群馬組合のお世話をになり、1泊でのブロック会議は平成5年の上諏訪で開催されて以来12年ぶりのことになります。

ところで日本経済は景気指標の改善がみられ株価も上昇し、景気回復が期待できるよう思うが、これは大企業業績によるところが大であり、立場を変えて中小企業

雇用実情では踊り場から脱却した状態ではないのではないかと思う。

経済産業省は中小企業に約130億円の概算要求を盛り込む方針である。

国内製造業を支えるめつきや鋳造などの基盤技術の底上げを図るための研究開発や販路開拓補助となっている。具体的に『めつき』ということばがこういった場面で使われることは非常にめずらしいことであり、それだけこの業界がある。



むしろ隣接組合の集まりであり、環境問題等個人情報交換の場としていただきたいと思う」と挨拶した。

た。

続いて来賓挨拶として群馬県小寺弘之知事の代理で産業経済局工業振興課課長石田哲博氏が知事祝辞を代読したあと、全鍛連大村功作会長が「会期中の2年間に私は主に2つのことについて取り組んでいきたいと思っている。ひとつは環境問題である。特に土壌汚染問題についての方向付けが出来ればいいと考えている。我々業界はこの土壌汚染に対してどのような方向で取り組んでいけば良いのか考えていかねばならない。又もうひとつは全鍛連の財政問題である。現在さまざまな問題点を出していところで、できるところからいち早くやっていくつもりです。今後課金のアップが難しい状況であるため、無駄な部分を取り除いていくよう現在実行中である。本日ご出席の皆様からこれらに對しての良いご意見をいただけたら、

認められてきたと歓迎すべきことである。brook共通の課題より



茨城県、栃木県が発表され、千葉県滝沢近弘副理事長が挨拶した。以上すべての議題審議を終了し、埼玉組合山本正宏副理事長が閉会の挨拶を述べた。

した。

休憩のあと、記念講演として我々業界に關係の深いテーマ「ここまできた地球環境の危機」と題して、フジ会計事務所渡辺三男会長が講師となり、環境破壊、工ネルギー、食料危機、地球温暖化等についてプロジェクターを使って約2時間の講演でしたが、地球規模での環境問題についてわかり易い内容で好評でした。終了後、記念撮影が行われ、18時よりホテル2階の五万石会場にて懇親会を開催、組合の入江宏理事長が副議長にそれぞれ選出され、議事に入った。

全鍛連要覧の中の地方事情報告書を布袋屋皓造全鍛連専務理事より各地方単組の要望意見に対しても形式をとり、意見交換を計れるようになり、なごやかに懇親を深めた。

茨城県、栃木県が発表され、千葉県滝沢近弘副理事長が挨拶した。以上すべての議題審議を終了し、埼玉組合山本正宏副理事長が閉会の挨拶を述べた。

茨城県、栃木県が発表され、千葉県滝沢近弘副理事長が挨拶した。以上すべての議題審議を終了し、埼玉組合山本正宏副理事長が閉会の挨拶を述べた。

茨城県、栃木県が発表され、千葉県滝沢近弘副理事長が挨拶した。以上すべての議題審議を終了し、埼玉組合山本正宏副理事長が閉会の挨拶を述べた。



平成17年度関東甲信越ブロック会議

## 記念ゴルフ大会開催

平成17年10月21日（金）朝6時

40分よりホテル「天坊」で朝食後、車で5分位の近くにある伊香保リゾートリーグクラブで記念ゴルフ大会を開催した。

大変よい天気で絶好のゴルフ日和となりました。1都5県より参加者は27名となりました。大会幹事埼玉県鍍金工業組合野口武副理事長より主旨説明のあと、競技委員長大塚一弘よりルール説明を行い、アウトコースよりスタートしました。楽しくプレーした後、クラブハウスでパーティ及び表彰式が行われ、開会のことばを大会幹事野口武副理事長より、次に幹事県を代表して埼玉県鍍金工業組合吉田勇理事長により挨拶、群馬県鍍金工業組合入江宏理事長の乾杯でなごやかに歓談した。

埼玉県鍍金工業組合大塚一弘競技委員長より成績発表と賞品授与を各入賞者へ吉田理事長より手渡されました。下記のように各賞が決まりました。群馬県鍍金工業組合光山紘副理事長の閉会のことばで記

念すべき大会が無事終了した。  
優勝 小泉健一氏

（群馬県鍍金工業組合）

準優勝 大山将司氏

（神奈川県鍍金工業組合）

3位 神谷文吾氏  
(静岡県鍍金工業組合)

B/G 大山将司氏 グロス75  
(神奈川県鍍金工業組合)

競技方法：新ペリア方式

入賞：優勝+全鍍連会長賞、準優勝、3位、4位、5位、6位、7位、10位、15位、20位、B.B.、ベスグロ、ドラコン×4ヶ、ニアビン×4ヶ



## 和歌山県高野山と 大阪市(株)大洋工作所鶴見事業部訪問

埼玉県鍍金工業組合では平成17年11月13日（日）14日（月）の両日、恒例の視察研修旅行を32名参加で開催した。

視察先は大阪府大阪市鶴見区株

太洋工作所です。当日は天気に恵まれ、羽田空港国内線第1ターミナル2階出発ロビー「日本航空「7番時計塔」付近で午前8時15分待ち合わせた後、午前9時出発の日

本航空1305便で関西国際空港に向けて出発した。午前10時20分到着後、待機していたバスに乗り、

高野山に向かつた。つづら折りの坂道をゆくと標高約900mの高野山へついた。小坂坊持明院で精進料理の昼食をとり、再びバスに乗り、奥の院に参拝した。高野山は弘法大師空海が真言密教と根本道場として定めた聖地。

816（弘仁7）年に伽藍の造営が始まりました。群馬県鍍金工業組合光山紘副理事長の閉会のことばで記念ゴルフ大会が無事終了した。  
優勝 小泉健一氏

（群馬県鍍金工業組合）

準優勝 大山将司氏

（神奈川県鍍金工業組合）

3位 神谷文吾氏  
(静岡県鍍金工業組合)

B/G 大山将司氏 グロス75  
(神奈川県鍍金工業組合)

競技方法：新ペリア方式

入賞：優勝+全鍍連会長賞、準優勝、3位、4位、5位、6位、7位、10位、15位、20位、B.B.、ベスグロ、ドラコン×4ヶ、ニアビン×4ヶ



化の発信地として発展してきました。国宝23件および重要文化財187件をはじめとする文化財を守り伝えている。一路バスは景勝の地である宿泊先新和歌浦温泉ホテル「萬波」に予定より少し遅れて着いた。さっそくひと風呂浴びた後、懇親会を開催した。吉田勇理事長挨拶のあと、野口武副理事長の乾

杯でしばらく歓談したのち、カラオケも飛び出し楽しいひとときを過ごし、小林満専務理事の中締めで終了した。

翌日は曇り空でホテルからの景色は和歌浦湾が遠く霞んでいた。

午前8時30分バスは阪和自動車道に入り、大阪府鶴見区株式会社へ向かった。10時20分到着後、大阪府鍛金工業組合小池揚理事長、杉村勘市専務理事、辻隆之社長は



従業員の定年は60歳で、「元気な間は働いてもらう」との趣旨で定年後も希望すれば技術の伝承や指導に、機械設備の改善などに役立ててもらい現在68歳位まで勤務している。

採用にあたっては14～15年前から少子化に対応するため、毎年25名前後採用している。内訳は大卒（技術系、文化系）、短大、職業訓練校などである。人材教育にも力を入れ、提案制度も導入され、成果を上げている。社員の対応の良さ、仕事ぶりもよく、5S（整理、整頓、清潔、清掃、躾）が徹底されていた。

定年後の対応も非常に良く感じ直ちに3班に分かれてアルマイト、プリント基板（無電解金めつき）、

従業員の定年は60歳で、「元気な間は働いてもらう」との趣旨で定年後も希望すれば技術の伝承や指導に、機械設備の改善などに役立ててもらい現在68歳位まで勤務している。

従業員の定年は60歳で、「元気な間は働いてもらう」との趣旨で定年後も希望すれば技術の伝承や指導に、機械設備の改善などに役立ててもらい現在68歳位まで勤務している。

従業員の定年は60歳で、「元気な間は働いてもらう」との趣旨で定年後も希望すれば技術の伝承や指導に、機械設備の改善などに役立ててもらい現在68歳位まで勤務している。

従業員の定年は60歳で、「元気な間は働いてもらう」との趣旨で定年後も希望すれば技術の伝承や指導に、機械設備の改善などに役立ててもらい現在68歳位まで勤務している。

従業員の定年は60歳で、「元気な間は働いてもらう」との趣旨で定年後も希望すれば技術の伝承や指導に、機械設備の改善などに役立ててもらい現在68歳位まで勤務している。

従業員の定年は60歳で、「元気な間は働いてもらう」との趣旨で定年後も希望すれば技術の伝承や指導に、機械設備の改善などに役立ててもらい現在68歳位まで勤務している。

## 障害者雇用に向けて あなたの企業は 法定雇用率に 達していますか？

一般の  
民間企業  
1.8%  
(常用労働者数56人以上規模の企業)

特殊法人  
2.1%  
(常用労働者数48人以上規模の法人)

### 定雇用率とは



※事業主は「企業全体の常用労働者×1.8% (2.1%)」人の障害者を雇用しなければなりません。

### 法定雇用障害者数の算出方法

雇用形態	障害者	算定数
常用労働者	重度の身体障害者・知的障害者	1人を2人として計算 (ダブルカウント)
	重度以外の身体障害者・知的障害者	1人を1人として計算
短時間労働者	重度の身体障害者・知的障害者	1人を1人として計算

雇用しているものとみなされます。また、重度身体障害者又は知的障害者に限って、短時間労働者（1時間の所定労働時間が20時間以上未満）についても、1人の障害者を雇用しているものとみなされます。また、一定の要件のもとに障害者雇用に特別の配慮をした子会社を設立した場合、親会社に雇用されているとみなす特別な制度もあります。（特例子会社制度）

## 全鍍連の第43回全国大会

全国鍍金工業組合連合会（大村功作会長）は、平成17年11月24日（木）午後2時より東京都港区芝公園の機械振興会館・地下2階ホールにおいて、全国のめつき工業組合の代表及び賛助会員、来賓ら多数の出席により、第43回全国大会を開催した。

第43回大会表彰では特別功労賞、

組合功労役員表彰、環境整備優良事業所表彰、全国めつき技術コンクール表彰等が行われた。

第43回大会表彰では特別功労賞、

組合功労役員表彰、環境整備優良事業所表彰、全国めつき技術コンクール表彰等が行われた。

特別功労表彰 後藤 安邦

株式会社 中央製作所代表取締役社長

愛知県名古屋市端穂区内浜町24-1

組合功労役員表彰では、埼玉組合からは今田三郎氏（有限会社今田理研）が組合功労役員表彰を受けた。

「中小企業新事業活動促進法」

が平成17年4月13日に施行され、

異業種連携による新事業にチャレンジする中小企業を支援する「新連携支援制度」がスタートしました。中小企業新事業活動促進法は、

（大村功作会長）は、平成17年11月24日（木）午後2時より東京都港区芝公園の機械振興会館・地下2階ホールにおいて、全国のめつき工業組合の代表及び賛助会員、来賓ら多数の出席により、第43回全国大会を開催した。

①中小企業経営革新支援法、②中小企業の創造的事業活動の促進法、③新事業創出促進法の中小支援法3法を一本化し、新たに制定したもので、

①高度な技術を有する中小企業が連携し、大企業が自社では解決困難であった課題について、ソリューションとなる製品・サービスを開発提供。

②独自の技術を有する中小企業が

③地場産業の再生を目指し、地域の下請け企業が連携して新製品を提案する等、新しい中小企業の成長を促しているものであります。そして今後、経済産業省及び中小企業庁は、めつきは製造業の基盤技術を担う重要な技術分野として捉えており、新たな施策を検討しております。

### 第43回全国大会宣言 (スローガン)

#### 環境との共生／地球上やさしいモノづくり

#### —世界に誇れるめつき業—

産業革命以来、工業生産力の向上は人類の物質的な豊かさをもたらしましたが、資源の多量消費に伴い、人の健康や自然環境に対する悪影響を防ぐため、環境との共生をはかる「地球上にやさしいモノづくり」が求められております。めつき業は多種の化学物質を使用しており、環境問題は決して避け

ることのできない課題です。環境保全への取り組みは企業のも先んじて消費者ニーズに対して新たな製品を提案。責務であり、企業を評価する重要な要素となっていることを認識しなければなりません。メーカーでは環境対応への軽重を尺度として発注先を選定する動きが広がっています。地域住民、金融機関、行政、従業員はそれぞれの立場から企業の取り組みに注目しております。進んだ事例として、環境報告書や見学会など、地域との交流を通じて理解を得ていくというケースも始まっています。今後、各企業は、経営戦略の重点項目に環境対応を位置付けることが必要となります。

環境規制は質的な変化を起こしております。従来の規制は、水濁法の排水基準が中心でした。最近では、化学物質の排出量の届出と公表を行うP R T R 法、水生生物の保全を考慮した新たな水質規制、V O C の排出濃度規制など新しい考え方による法規制が生まれています。

また、I S O 1 4 0 0 0 シリード





ズなど、企業内の管理体制を評価し認証する制度、欧州規制に始まる製品中の微量な有害物質を禁止する規制、生産工程での有害物質使用への配慮などが見られます。すなわち、自然環境への排出制限から、製品、加工方法、管理体制、情報公開へと取り組むべき範囲が広がっております。自社の生産工程を再点検する時です。

昨今、めつき工場からの有害化學物質流出事故が、再三、マスコミ報道されるという残念な事態が生じました。改めて事故防止に万全を期すとともに、不幸にして万一発生した場合には、環境への影響を最小限に食い止めるための緊急対策を施し、関係機関等への連絡を迅速に行なうことが責務です。

個々の組合員、都道府県工業組合、全鍍連の3者が一体となつて、高度な品質と環境との共生を両立した「世界に誇れるめつき業」を構築していくではありませんか。

- ④ 企業における品質管理活動等がある。
- めつき技術は耐摩耗、耐蝕性を初めとする機能部品から装飾に至

る表面技術として自動車産業やエレクトロニクス等多岐にわたる分野において活用されている。しかし、P R T R 対象物質として掲げられるシアノ化合物、6価クロム等環境負荷の大きい薬剤が使用され、公害対策としての廃水処理にとどまることなく、材料、技術改革の早急な対応が要求されてきている。このような状態においては、法的規制に対応する公害対策から環境保護へと開発の強化が促され、無害化処理から材料規制、有害物の回収再利用、更には I S O 1 4

12月1日（木）組合会議室において鍍金業人材高度化研究会の一環として「リスク管理」セミナーを午後3時より1時間半にわたり開催した。

初めに野口武副理事長の挨拶につづいて、講師の長谷川稔氏の紹介のあとセミナーに入つた。長谷川氏は次のように講演した。

- ① めつき業における環境問題
- ② (C S R) 企業の社会的責任
- ③ I S O リスクアセスメント
- ④ 企業における品質管理活動



## “人材高度化研究会” 「リスク管理」 セミナー

る表面技術として自動車産業やエレクトロニクス等多岐にわたる分野において活用されている。しか

れで、企業は様々なステークホルダー（株主、従業員、取引先、消費者、地域、国際社会）との信頼関係を構築し、自らの事業活動を継続していく上で果たして行かねばならない責任である。

最近の日本での見方はこれまで従業員重視の企業活動でこれらは株主の利益を重視した活動にしなければいけない。又環境や地域住民への対応を重視してはじめて企業の経営が成り立つ。企業がこの責任を果たす為には事業活動に伴つて生じる人とモノと環境に対するリスクを評価し、合理的に可能な限りリスクを回避軽減しなければならない。

品質、環境、労働安全衛生等のマネジメントシステムを実施、運用する上でリスクを分析評価するリスクアセスメントが重要な役割を演じる。

- 1 統計的品質管理 (S Q C) :
- 昭和30年代数値的管理の時代
- 数値に管理され無機質化

### 企業の社会的責任 (C S R)

- 品質管理活動の推移

## 2 小集団活動：

対面する少人数で成り立ち、メンバー間の相互依存関係による活動

## 3 全社的品質管理活動(CWQC)

企業経営の手段として体質改善に寄与。

- ① TQC：日科技連
- ② TPM：日本プロントメントナントス協会（日本能率協会）
- ③ ISO・International Organization Standardization (日本規格協会)

## 4 国際規格：

ISO維持審査1年毎、更新審査3年毎実施

① ISO9001

1994年版Quality System  
品質システム（品質保証）

2000年版Quality Management System（品質マネジメントシステム）

規格を理解し、主体的に判断し規格の言う原則に基づいて自身のシステムを設計する売り手主体となる。

② ISO14001

自らの環境方針、目的を考慮し、活動、製品、サービスが環境に及ぼす影響を管理する。

1998年度版 語義等内容整備。システム規格で自主的な取り組みを求めている。企業イメージの向上による優位性の確保。

環境マネジメントシステムは、組織の活動、製品、サービスの環境負荷を低減し、環境の改善に役立つことを目的とするが、組織全体のシステムの一部として環境方針を作成し、実施、達成し、見直し、維持するための組織の体制、計画活動、責任慣行、手順、プロセス、資源を含む。

審査登録件数は約2万件で、日本の中、中小企業数670万社があり、裾野は広がるであろう。地球環境、地域環境の保全改善のため、多くの企業の参加が望ましいが、要求を満たすマネジメントシステムを構築し、運用するには経費、人材の面で多くの負担となつてている。その裾野を支援する活動が広がりつつあり、環境ISOの普及に期待されており、エコアクション21（環境省）、エコステージ、KES等がある。出席者の皆様方はたいへん熱心に受講しました。

出席者名  
野口武、小林満、増坪亮、高林佳司、萩原次郎、生形満男、小築憲一、柴崎義史、柿沼信夫、事務局 武井千蔵

## めつきと私



小松原秀元

平成十七年度の通常総会をもつて私は理事の定年となり任期は終りました。在任中は温かい御支援協力を賜り有難う御座いました、心より厚く御礼申し上げます。在任中は技術教育委員の担当で一番大きな事業はめつきコンクールでした。全国でも埼玉県だけの行事です。その背景には我々業界の技術の低さにあつたものと思われます。県の試験場の技官がめつき不良をなくし、少ない貴重な資源を少しでも有効に使い製品の質の向上を計るを目的とする思いで、競技会開催をスタートさせたと私は理解しています。思えばその年の七年前、昭和二十五年三月中学卒業、四月より我が家への就職につき業に就職、その時に父は休業の工場を借りてめつき業をスタートさせました。

しか無かつたのです。めつきはニッケルめつきと装飾クロームめつき、父はクロームめつきの経験はありませんでした。私はめつき技術は化学を良く理解するしかない、そう考えました。昼間は家業を手伝い夜は定期制高校授業に化学の教科があり週四時間それは貴重な授業でした。それで得た知識と一冊のめつき技術の参考書アメリカで作られた本です。クロームめつきは成功しました。学校に感謝です。父に隠れて実行に移すのですから心境は生中に生無し死中に生在りの感でした。時代は朝鮮動乱ニッケルなど高くて手に入らない。ニッケル無しの直クロームめつき製品の納品となりました。工場は借工場材料も乏しく技術力も無しですがあつたのは若さとめつきに対する情熱でした。その後ニッケル、銅めつき等の技術を身に付けました。その力は後の技能士の試験に計り知れない力を發揮しました。めつきに研磨作業にその道一筋、実務経験五十六年現役で、七十一才です。在任中のお礼が活字なればと思い書きました。

我々めつき事業者は、排水処理等の環境対策について、先輩諸氏の指導を地道に守り、環境法令を遵守し、社会的信頼を勝ち取つてきました。

しかし、最近誠に残念なことに、組合員及び非組合員のめつき事業所で有害物質流出などの事故がびたび発生し、新聞・テレビで大きく報道されました。

**設備の管理・点検と  
従業員教育を徹底し、  
事故防止に  
万全を期しましよう！**

組合員のみなさまへー  
ー組合員のみなさまへー  
ー組合員のみなさまへー



質を使用し、処理工程が複雑なため、最新の設備を備えた工場といえども事故の恐れが皆無とは言えません。全てのめつき事業者にとって事故は決して他人ごとではありません。

組合員のみなさまにおかれましては、設備とその管理方法について再点検を行うとともに、従業員教育の徹底を図り、事故防止対策に万全を期されますよう改めてお願い申し上げます。

**技術・製品展示会**  
展示ブースにおいて自社の製品や技術力、サービス等をアピールするなど、来場者や他の参加者との情報交換・商談等を行つて頂く場を提供します。

**彩の国ビジネスアリーナ2006**  
**2月9日(木)・10日(金)**  
**10:00~17:00**  
さいたまスーパーアリーナ  
(コミュニティアリーナ)

**産学連携**  
工科系大学及び研究期間の研究テーマや成果を紹介すると共に、共同研究・開発等に向けた情報交換を行つていただく場を提供します。

1 「顔の見える取引」と情報交換  
2 集客に最大の努力をする展示会  
3 お客様が参観して喜んでいただける展示会。

**METEC'06**  
**第36回 表面処理材料総合展**  
**5月25日(木)・27日(土)**  
東京流通センター  
(TRC)

**「要素技術最前線 先端表面技術の創出」**  
高密度半導体パッケージを実現する表面技術

**SURTECH & Coating Japan 2006**  
**総合表面技術博覧会**  
**4月26日(水)・28日(金)**  
[3日間]  
東京流通センター  
(平和島)



万一こうした事故がおこった場合、貴社が永年築き上げてきた近隣住民との信頼関係は瞬時に水泡と帰ってしまいます。また貴社だけでなくめつき業界全体のイメージダウンは計りません。

めつき事業所では様々な化学物

質を使用し、処理工程が複雑なため、最新の設備を備えた工場といえども事故の恐れが皆無とは言えません。全てのめつき事業者にとって事故は決して他人ごとではありません。

万一こうした事故がおこった場合、貴社が永年築き上げてきた近隣住民との信頼関係は瞬時に水泡と帰ってしまいます。また貴社だけでなくめつき業界全体のイメージダウンは計りません。

## 旭日双光章に輝く

**島村周作、柴崎三郎両氏**



島村周作氏

政府は、平成十七年十一月三日の文化の日に平成十七年度秋の叙勲受章者四千二十八人と褒章受章者八百二十七人を発令され、めつき関係では、全国鍛金工業組合連合会常任顧問理事・埼玉県鍛金工業組合常任顧問理事・兼松精鍛工業(有)社長島村周作氏と全国鍛金工業組合理事長・株フツカクローム社長柴崎三郎氏が旭日双光章を受章しました。晴れの伝達式は、十一月九日に東京・芝公園の東京ブリッジホテルで行われ、その後、皇居で天皇陛下にお目にかかりました。

- 1 組合員新規加入の件
- 2 社名 有限会社ダイエイ バル(川口市)
- 3 各委員会報告(総務委員会、技術委員会、環境保全対策委員会)
- 4 組合事務所パソコン買替え
- 5 分析職員 中山 喬善

昭和18年2月24日生

組合相談役浅川和昭氏の紹介で11月初旬より勤務され、現在分析研修中です。どうぞよろしくお願いいたします。

6 全鍛連関係の報告

## 第4回常任理事会及び 理事会開催

第4回常任理事会及び理事会を開催した。  
平成17年12月7日(水)新道山家で午後2時より開催した。

(出席18名、委任状2名)

小林満専務理事の司会で吉田勇

理事長議長に就き開催され常任理事会及び理事会開催

- 1 組合員新規加入の件

社名 有限会社ダイエイ バル(川口市)

2 平成17年度秋の叙勲で旭日双光章を受章された島村周作常任顧問理事の祝賀会を平成18年3月3日(大宮バレスホテル)で開催予定

3 各委員会報告(総務委員会、技術委員会、環境保全対策委員会)

4 組合事務所パソコン買替え

5 分析職員 中山 喬善

**染矢 材さん**  
共同クローム工業株代表取締役  
第7支部 組合元理事  
平成17年10月26日逝去

(月) 視察研修先株式会社太洋工作所鶴見事業所(大阪市鶴見区)

表紙の写真は平成17年11月14日

見事業所(大阪市鶴見区)

## 後記集編



アジアで流行していた鳥インフルエンザがヨーロッパでも確認されたことから病原体のウイルスが突然変異し、人間にも感染するようになり、爆発的な流行を引き起こすインフルエンザウイルスが出現する可能性が高まっている。鳥インフルエンザはこれまで遭遇したことのないタイプなので、免疫がまったくないため、大きな被害をもたらす可能性が高い。厚生労働省はこの新型インフルエンザが出現した場合の対応策として、治療用の抗ウイルス薬「タミフル」を250万人分確保することにしている。